

現役学生による就職活動報告

福島 大祐

Daisuke FUKUSHIMA

牧寄 郁

Kaoru MAKIZAKI

1. これから就職活動をする皆さんへ (福島 大祐)

これから就職活動を始める皆さんに私は、今の時期にやらなければならないことと、心意気やモチベーションなど精神的な部分でのアドバイスをしたいと思います。

皆さんはもう、「自分がどの業界でどういう仕事をしたいか」というのをしっかり考えていますか？私はこのことをいかに早い段階でしかも深く考えておくかということが就職活動をする上で一番大切なことだと感じています(就職活動を終えて、より大切だと感じました)。なぜなら、このことについてしっかり考えているかどうか、内定がもらえたかどうかの結果に表れているからです。「どこでもいいから、とりあえず1社内定貰えればいいや」この考え方で就活をしている人は内定を貰えていない人が多いように見えます。おそらくこの考え方では、100 社受けようが、200 社受けようが内定は貰えないと思います。「俺(私)は絶対にこの会社から内定を獲るぞ！」という気持ちを、受験する全ての会社に対して持ってください。複数社から内定を得ている人はみんなこの共通した考え方を持っているでしょう。

しかし就活が上手くいかない時期が続いたり、周りに真面目に就活をしている人が少ないと、モチベーションの維持が大変です。特に後者の場合、周りがしていないとつい自分も「今週の説明会はキャンセルしよう」など悪い方に影響されてしまいます。ぜひ1人で根詰めてやるのではなく、モチベーションが高い仲間を見つけてください。自分と同じ学部の友人でなくても、九産大の友人でなくても構いません。キャリア支援センターで出会った人や、説明会で隣に座った人、色々な人に自分から積極的に話しかけて、“就職活動の中での出会い”を大切にしてください。そう

いう人たちとつながりを持つことで「あいつが頑張っているから俺も頑張るぞ！」という気持ちになりやすいと思います。

最後に、就職活動は自分のこれからの将来を決める人生で最も大切な時期です。自分がどの業界でどういう仕事をしたいのか、このことをしっかり考えて「絶対にこの会社から内定を獲る！」という気持ちで臨んでください。そして納得いく結果が出るように皆さん精一杯取り組んでください。

著 者 紹 介

福島 大祐 (ふくしま だいすけ)

平成 21 年 3 月 佐賀県立佐賀商業高等学校卒業

平成 25 年 3 月 九州産業大学情報科学部情報科学科卒業見込み 稲永研究室所属

2. 私の就職活動体験記 (牧寄 郁)

私が就職活動を始めたのは3年次の12月で、この年は例年よりも2ヶ月遅れて就職活動が始まることになりました。就職活動に対してやる気はあったのですが、活動を始めたばかりの頃は何をどのようにすればいいのか全く分からず、とりあえず説明会を受けておこうという考えしかありませんでした。

12月中は、就職サイトが開催する合同説明会にはほぼ全て参加し、少しでも興味を持った企業の説明を受けました。12月下旬頃に、キャリア支援センターに就職相談をした際に、自己分析や筆記試験対策、面接対策を行っていないと不満足の結果しか出ないことを言われました。これに気付いて焦っていた時には企業の選考が始まろうとしていた頃だったので、私

は周りの人達よりも出遅れて就職対策に取り組むことになりました。もっと早く対策を行っていたら、効率良く就職活動ができていたのではとも思います。

12月下旬から1月上旬頃に、自分自身で自己分析をしていたのですが、意外と自分の事について分析することは難しいです。そこで、支援センターのスタッフの方々の協力のもと、自己分析を手助けしてもらいました。まずは履歴書やエントリーシートに共通してある2項目、「自己 PR」、「学生時代に力を注いだこと」を中心に考えました。一人でやるのとは違い、スタッフの方からのアドバイスは今まで気付かなかった、自分の長所・短所、やりたいと思っている仕事が明確に表れました。そして分析を行うに従って、業界や職種が絞り込まれていき、結果として私は、社会で活躍するシステム開発を行える企業に就きたいことが分かりました。自己分析ばかりではなく、筆記試験対策(SPI、CAB・GAB)も同時進行で行い、先輩方から3冊の対策本や問題集を借りて問題を多く解くようにしました。1月は企業の単独説明会も始まり、週2～3回のペースで単独説明会に参加しました。説明会では、少しでも疑問に思うことやその企業の詳しい事業内容などを説明終了後の質問時間に発表したりするなど、小さなアピールをするようにしていました。1月下旬頃には選考を開始する企業が増えはじめたので、志望度の低い企業を中心にエントリーシートを提出しましたが、対策の遅れや準備不足のためエントリーシートで落選したりと結果は散々でした。しかし、めげずに毎日支援センターのスタッフや先生をつかまえては「志望動機」や「自己 PR」、「学生時代に頑張ったこと」、「卒業研究の内容」の添削を行ってもらいました。エントリーシートで多く落選したことで落ち込みもしましたが、これまで以上にやる気と気合も入りました。

3月頃になると多くの企業が本格的に選考を始めます。いざ選考を受けてみると、筆記試験で落選することが何回かありました。本番の緊張感で実力が全く発揮できなかったからです。対策不足も大きな原因であり、時間があれば解ける問題が多く、根本的に解けない問題もありました。私は SPI の問題集を中心に対策をしており、CAB・GAB、玉手箱方式の問題が出た時にはあまり対応しきれていませんでした。

よって、3月は筆記試験の対策により一層力を入れました。SPI の問題ばかり多く解いていても対策したとはいえないと気付き、他の形式の問題も多くときました。大学の図書館には様々な問題集があるので、大いに活用しました。

4月には志望度の高い企業の選考が始まり、勝負の時期ともいえました。不調ばかりの筆記試験も通り、面接を3社程度受けました。面接対策も同じく支援センターが設けてある模擬面接を活用していき、面接練習の回数を多く重ねてスキルを身に付けました。入室の仕方、座り方、話し方、退室の仕方を細かく改善していき、自分の思ったことを上手く声に出し、抽象的にならないよう話す練習を重ねました。本番では、練習で培ってきた成果が出せ、予想外な質問にも柔軟に対応することができました。練習を多く行ったことで自信が付いていったのだと思います。

5月には本命の企業の最終面接にまでいき、後悔しないように、自分の伝えたいことやアピールしたいことを役員の方々に必死に伝えました。そして、5月31日に内定の報告を頂きました。

就職活動の半年は、正直辛かったです。未来が全く見えず、もがき苦しんでいた半年でした。しかし、人生で今までないような経験や達成感を多く体験でき、自分自身が大きく成長できた期間でもあります。私の経験を踏まえて言いますと、就職活動を始めたばかりの頃は思い通りにいかないなと感じました。必死で取り組んだつもりでも結果がついてきません。これは、私の就職対策(自己分析、筆記試験対策、面接対策)が大幅に遅れてしまったことが原因だと思います。しかし、自分が後悔しないように頑張れば、おのずと結果がついてくると私は感じました。これから就職活動始める学生達には、なるべく早く自己分析や筆記試験などの対策に取りかかるようにしてもらいたいです。

著 者 紹 介

牧 崎 郁 (まきざき かおる)

平成 21 年 3 月 宮崎県立宮崎北高等学校卒業

平成 25 年 3 月 九州産業大学情報科学部情報科学学科卒業見込み 澤田研究室所属